

vol. 2208

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】佐伯印刷(株) 【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 人勤期中央行動を背景に職員福祉局長、給与局長と交渉 — 7 / 25
- 核兵器のない世界にしよう！ 日米地位協定の抜本的見直しを実現しよう！
連合平和行動in大分
- 県議を交えた単組・専門部の課題に関する学習会
- 第25回参議院議員通常選挙結果
- 教職員共済からのお知らせ

人勤期中央行動を背景に職員福祉局長、給与局長と交渉 — 7/25

— 月例給・一時金等の具体的回答が示されなかったため、給与局長と再交渉へ —

と き：7月25日(木) ところ：日比谷大音楽堂 (東京都)

公務員連絡会の人勤期中央行動には全国から3,000人の仲間が結集して開催され、大分高教組からも3人が参加しました。日比谷大音楽堂で中央集会を開催したほか、霞ヶ関を一周するデモ行進と人事院前での交渉支援行動を行った上で、音楽堂に再結集し、人事院交渉の報告集会を行い、要求実現を求めて最後までたたかい抜く決意を固めました。

中央集会では、集会議長として田村副議長(日高教委員長)を選出した後、主催者代表として柴山議長が挨拶を行いました。柴山議長は、「先の南九州の豪雨災害への対応をはじめ、日頃より国民生活に不可欠な公務・公共サービスのために最前線で懸命に働く皆さんに改めて敬意を表する。連合の2019春闘では継続して賃上げを勝ち取るなど、一定の成果を残してきている。我々も月例賃金、一時金の引き上げや住居手当の見直しなど、一貫して求めてきた納得性の確保、交渉・協議、合意を基本に交渉を進め、要求実現につなげていく。組合員の期待に応える結果を導き出せるよう、全国各地で奮闘する組合員とともに最後まで頑張ろう」と訴えました。



続いて激励挨拶に駆けつけた連合の南部副事務局長は、「春季生活闘争では全体の賃上げ率は2.07%と昨年と同率の結果となり、賃上げは今年も力強く継続している。とりわけ100人未満の組合やパート・有期契約で働く労働者の賃上げの健闘ぶりが目立つ結果となった。これらの春闘期のたたかいから公務の人勤期、そして確定期への闘争の相乗効果により、実質賃金の引上げにつなげていくことが必要だ。また、教員の働き方改革やハラスメントの防止に向けた取組など、労働者を守るための取組は引き続き重要な課題である。6月のILO総会で新たに「仕事の世界における暴力とハラスメント」に関する条約が採択された。ハラスメント対策の取組は官民共通の課題であり、公務職場におけるパワー・ハラスメントについても対策を推進し、連合としてハラスメント根絶に向けて引き続き取り組んでいきたい。また、公務員の労働基本権問題についても、すべての働くものの権利と尊厳に通じる問題と捉え、連合はITUC、公務労協との連携を密に取りつつ、引き続き政府に対して誠実かつ具体的な対応の前進を求めていく。公務員連絡会の皆さんの人勤期の交渉が精力的に進んでいくことを期待する」と激励と連帯の挨拶を行いました。

基調提起に立った吉澤事務局長は、正念場を迎える本年の人事院勧告について、「民間の賃金動向は、総体としてのベアは確保できているものの、全体としての水準は昨年を下回っている。一方、国公給与の状況を踏まえれば、較差について予断をもって申し上げられる環境にない。また、一時金については昨年冬は微増、本年夏は減となっており、引上げを前提とした勧告になり得る環境にはない。しかし、あくまで目指すべきは6年連続での月例給と一時金の引上げだ。民間、全印刷・全造幣の中労委調停による6年連続の賃上げの流れを人勤が逆流させるようなことは断じてあってはならないという決意のもと、公務員連絡会一丸となってとりくもう」と訴えました。

構成組織の決意表明には、国公連合・国交職組・下山孝志東北地方本部執行委員長、日教組・小林美奈子三重県教職員

組合書記次長、林野労組・藤島学関東地本東京支部事務局長が登壇し、たたかう決意を力強く表明しました。

集会を終えた参加者は、人事院前交渉支援行動と霞ヶ関一周のデモ行進を行い、「職員の賃金を上げろ」「長時間労働を是正しろ」「定年引上げを実現しろ」「非常勤職員の待遇を改善しろ」などと力強くシュプレヒコールを繰り返しました。

行動を終えた参加者は日比谷大音楽堂に再参集し、人事院局長交渉の報告を受けた。吉澤事務局長は交渉の概要を報告した上で「本日の交渉において月例給・一時金の状況をとにも厳しく追求したが、人事院は具体的な回答を示していない。勧告まで2週間を切り、最終盤の正念場を迎える。最後まで引上げにこだわって交渉に臨む決意だ」とし、今後の交渉に向けた基本姿勢を明らかにしました。そして最後に、柴山議長の団結がんばろうで集会を締めくくりました。

集会を終えた参加者は、人事院前交渉支援行動と霞ヶ関一周のデモ行進を行い、「公務員の賃金を上げろ」「定年年齢を引き上げろ」「超過勤務を削減しろ」「非常勤職員の賃金を上げろ」などと力強くシュプレヒコールを繰り返した。

この中央行動を背景として行われた書記長クラス交渉委員との交渉で合田職員福祉局長は、①国家公務員の超過勤務は、民間労働者の時間外労働と枠組みは異なっているものの、公務においても職員の健康確保や人材確保の観点等から長時間労働を是正することの必要性は異なるものではない。人事院としても、他律的業務の比重が高い部署の範囲などの制度の運用状況を把握し、必要に応じて各府省を指導するとともに、関係機関と連携しつつ、各府省における長時間労働の是正に関する取組を支援していく。②仕事と家庭の両立支援については、性別にかかわらず両立支援制度が適切に活用されるようにすることの重要性に対する社会の認識はますます高まっており、引き続き、制度の周知に取り組んでいきたい。③ハラスメント防止対策について、パワハラについては、本年3月より、有識者による「公務職場におけるパワー・ハラスメント防止対策検討会」を開催しており、その結果も踏まえて、新たな防止策を講じていく。セクハラについては、本年4月から規則改正を行い、新たに指定職職員又は本府省課長級職員となった者への研修実施を義務化するとともに、新たに自習用研修教材を作成・配布するなど、対策を充実・強化していく。④非常勤職員の休暇について、夏季休暇を措置したい。⑤の障害者雇用問題に関しては、本年度の障害者選考試験については、必要な改善を行った上で、各府省が本年末までに採用を行えるよう、本年9月から11月にかけて実施することとしている、などと回答しました。また、松尾給与局長は、①勧告は例年とおおむね同様の日程、②官民較差について、民間の状況については、定昇分を含む賃上げ率は昨年と比べ小幅な増減、一時金は、最終的にどのような結果となるか注目しているところで、③諸手当については、民間の状況、公務の実態等をふまえ、必要となる検討を行っていく。住居手当については、本年の勧告における見直しを念頭に検討を進めている、などの回答を示しました。加えて、定年引上げ等について、これまでの検討結果に基づき必要な協力を行うこと等を通じて、必要な法律改正が早期に行われるよう、人事院として、その責任を適切に果たしたい、と表明しました。

※すでに高教組速報でもお知らせしたとおり、人事院は8月7日(水)に、国会と内閣に対して月例給を0.09%、387円、一時金を0.05月引き上げる勧告・報告を行いました。詳細については改めて、高教組情報でもお知らせします。

核兵器のない世界にしよう！ 日米地位協定の抜本的見直しを実現しよう！

連合平和行動 in 大分

とき：7月27日(土) ところ：ソレイユ

2003年より開催されている「連合平和行動in大分」は、世界の恒久平和の実現に向けて、より一層平和運動を強力に進めていくためには、次世代への継承が必要であるとの認識のもと取り組みを進めてきています。今回も、戦後74年が経過し、戦争体験の継承が難しくなっている中で戦争の悲惨さをしっかりと次世代へ繋げていく目的から、朗読劇として「焼夷弾の下を逃げ回って～佐世保空襲～」と題して「劇団だいこんの花」の皆さんに公演をいただきました。また、平和行動in沖縄へピースガイドとして参加したメンバーに参加報告を行っていただくとともに、平和行動終了後は、核兵器廃絶1000万署名に向けた街宣行動も行いました。



県議を交えた単組・専門部の課題に関する学習会

と き：7月30日(火) ところ：JRおおいたシティ会議室

当初予算編成、また9月議会を前に、高教組が抱える課題について尾鳥県議を交えて学習会を開催しました。

学習会では、主に各単組・専門部における課題について、今年度の単組・専門部交渉における要求項目を中心に報告、ならびに意見交換を行いました。今回も多く支部長にも参加をしていただき、各単組・専門部の課題を共有することができました。

今後、議会で追及すべきものについては、尾鳥県議と協力し、定例会の中で質問項目としてとりあげるなどしながら、要求の実現にむけた具体的なとりくみを展開していきます。

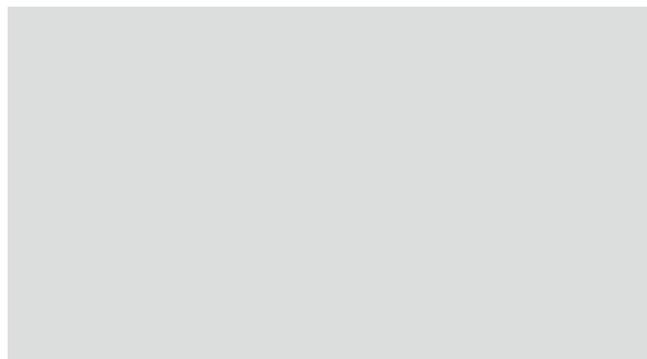


第25回参議院議員通常選挙

「みずおか俊一」(全国比例区) 当選 「安達 きよし」(大分選挙区)

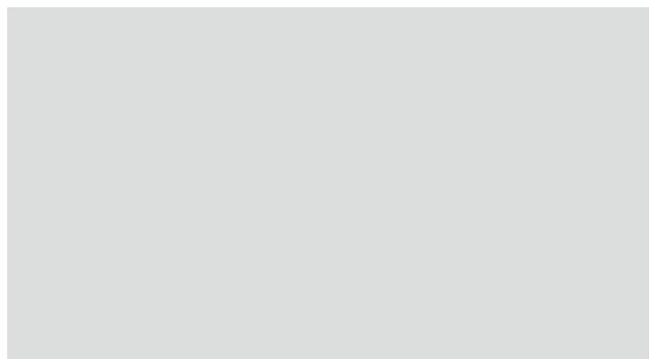
6月13日に公示、7月21日に投開票が行われた第25回参議院議員通常選挙においては、高教組として推薦した全国比例区「みずおか俊一」(日政連)、大分県選挙区「安達きよし」(連合大分推薦) 両名の当選を勝ち取ることができました。「みずおか俊一」「安達きよし」とも非常に厳しい選挙戦ではありましたが皆さんからの熱いご支援と後押しをいただき、見事当選を果たすことができました。

**「みずおか俊一」再び国会へ！
教育の議席を守る！**



「みずおか俊一」は、教育現場出身の国会議員として「高校授業料無償化」を実現させました。前回選挙で苦杯をなめ、捲土重来を期して全国比例区から立候補し、見事当選を勝ち取りました。学校における「働き方改革」の風が吹いている今、学校現場をする「みずおか俊一」だからこそ、私たちの切実な声を、身をもって国政の場に届けてくれることを期待します。

一方、大分県選挙区では、野党統一候補として立候補した「安達きよし」が、自民党現職に真っ向勝負を挑みました。序盤から相手候補にリード許していたものの、最終盤で逆転し、見事激戦を制しました。これで前回選挙に続いて野党系が大分県選挙区議席を獲得したことになり、「安倍政権No!」という大分県民の意思を表す結果となりました。



**「安達きよし」最終盤で逆転！
激戦を制す！**

選挙結果

全国比例区 ◎みずおか俊一(立 民) 当選 14,309票 (大分県内得票数 6,164票)	大分県選挙区 ◎安達 きよし 当選 (無所属) 236,153票 いそざき陽輔 (自 民) 219,498票 牧原 慶一郎 (N 国) 20,909票
--	--

組合員のみなさんのご協力、本当にありがとうございました。

あんしん むすぶ
教職員共済

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

教職員共済は、 「教職員」だけがご加入いただける共済生協です!

「共済」とは、組合員同士の相互扶助(助け合い)による保障制度です。

教職員共済は、全国の学校・教育機関を職域とする共済生協として
唯一、厚生労働省の認可を受けている団体です。

教職員とご家族の「万一」のために、手頃な掛金で備えられる
さまざまな共済を提供しています。

わたしたちは、「つながり」と「信頼」を原点とする生活協同組合として
教職員の相互扶助の輪を広げます。

ご自身の「万一」のために、仲間の「万一」のために、
あなたもこの助け合いの輪に参加しませんか!

「あんしん むすぶ」
きりんのあむりんです!

「教職員」の皆さまの生活をトータルサポート!

教職員賠償など12の保障をセット

総合共済

大切な住まいや家財のために

火災共済

(住宅災害等給付金付火災共済)

自然災害共済

「教職員」のための特色ある制度

自動車共済

死亡・高度障害を一生涯にわたって保障

新・終身共済

(終身生命共済)

病気・ケガによる万が一に備えて

トリプルガード

(団体生命共済・医療共済)

ケガ・事故・賠償に備えて

レスキュースリー

(交通災害共済)

愛車の万が一に備えて

車両共済

(車両保険)

セカンドライフのために

年金共済

(年金共済・適格年金共済)

詳細はWEBへ! 資料請求やお見積りはスマホでも簡単ラクラク!

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 大分県事業所

〒870-0951 大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館 2F

教職員共済

検索

